

サーキットで楽しく運転を
学びたい人に

ドライビングレッスン

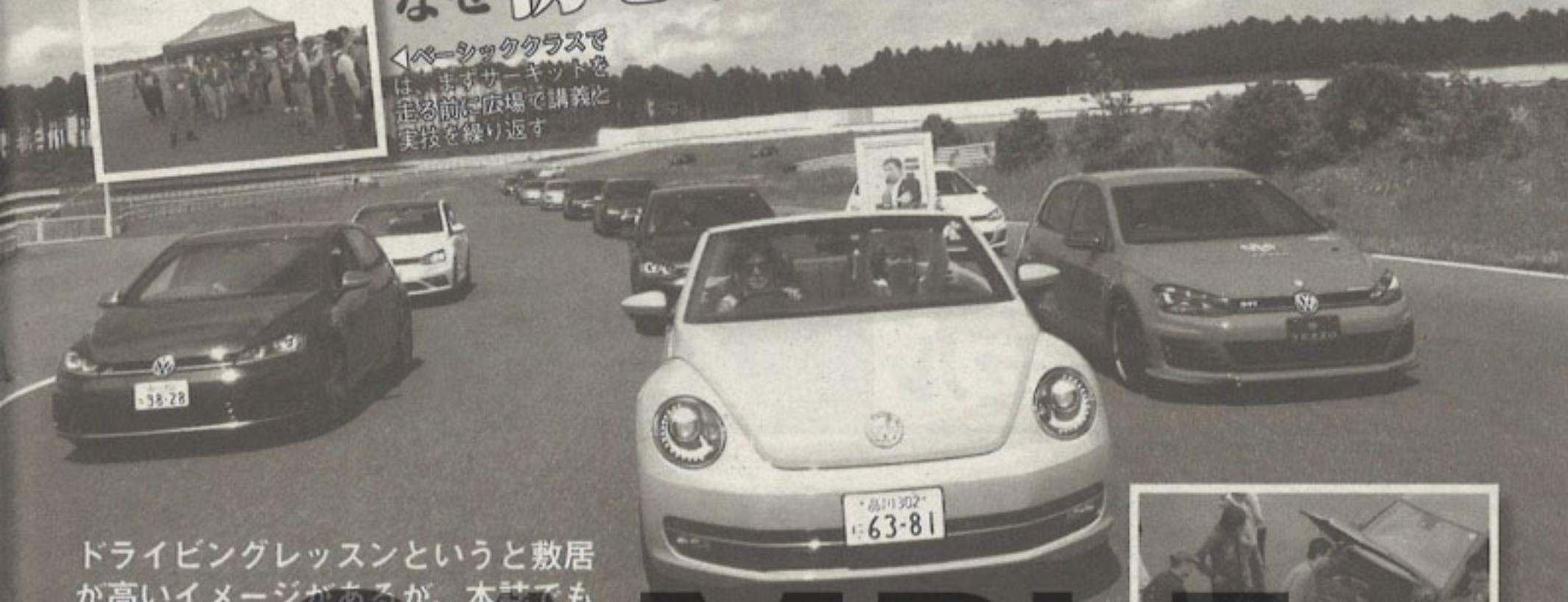
太田哲也ドラレスは

なぜ初心者に人気なのか…?



▲校長の太田哲也氏と、故・山路慎一氏の奥様である菜穂さんがパレードランの先導を務めた

ペーシッククラスでは、まずサーキットを走る前に広場で講義と実技を繰り返す



ドライビングレッスンというと敷居が高いイメージがあるが、本誌でもおなじみの太田哲也氏が校長を務めるドラレスは初心者の満足度が高いと評判だ。その理由はいったいどこにあるのか取材してみた。

■文：加藤英昭（本誌） ■写真：関根健司



▲サーキット初心者のために、愛車のどこを見ておけばいいかを教えてくれる走行前メカニック点検講座を実施

サーキット走行の経験が安全運転につながる！

「サーキットでのドライビングレッスン」と聞くと、それだけで身構えてしまう人も多いことだろう。しかし、本誌でもおなじみの太田哲也氏が主宰する「Tetsuya OTA ENJOY&SAFETY Driving Lesson(ドラレス)」には、サーキットに来たことがないという人やドライビングレッスンが初めてという参加者が多い。実際、今回おじゃましたドラレスも、70人いた参加者の半分以上がサーキットを初めて走るといふ、いわゆるサーキット初心者の人たちだった。

初心者といっても、実は運転歴は20年を超えるベテランの人が多かったりするので失礼な話かもしれないが、サーキットなどでクルマを限界ギリギリで走らせたことがある人は意外に少ない。この限界で走らせる経験というのが非常に重要で、どう操作をすればクルマは限界に達してしまうのか、またドライバー自身の限界を知っておくことも、実は安全運転につながるのだ。

サーキットを目一杯走った後に、公道で制限速度レベルで走ってみると、視界に余裕があっ

サーキットサファリ

◀講師陣の運転によってコースを全開で駆け抜ける場所を、サファリカー(トゥアレグ、トゥーラン)に乗って間近で見ることが出来るサーキットサファリを実施。対象は参加者の付き添いの人で、サーキットを満喫！



て、操作もゆっくりなことに気がつく。これはすでにドラテックがレベルアップしたということ。サーキットでの速度感、限界域でのクルマの挙動を体験することによって、周囲の状況にも気を遣うことができ、運転にゆとりができるのだ。

さらにこの太田ドラレスの参加者に聞いてみると、「座学」、つまりドライビング講義がとてもタメになったという人が多い。というのもこの座学では運転の

Tetsuya OTA ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON with Volkswagen

@袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ



▲参加者は講師陣のドライビングに同乗することができるが、今回はその同乗試乗車にまだ国内販売されたばかりのゴルフRヴァリエントも登場した



▲今回はフォルクスワーゲンユーザーが多く、ドラレスへの参加が初めてという人が半分以上を占めた



▶座学ではタイヤの摩擦円、クルマの荷重移動などの基本を、太田校長が図版を使って丁寧に教えてくれる



サーキットへようこそ!!

Volkswagen

クルマが日本を元気にする

Tetsuya OTA ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON

Tetsuya OTA
ENJOY & SAFETY
DRIVING LESSON

injured ZERO

本誌とのコラボでもおなじみの「Tetsuya OTA ENJOY&SAFETY DRIVING LESSON」。午前中は座学でドライビングの基本からサーキットマナー、さらにはサーキット攻略法まできっちり学び、午後からは「ベーシック」「アドバンス」「スパタイGP」の3クラスに分かれての走行プログラムとなる。ベーシックはサーキット初心者を対象として、急制動、旋回ブレーキ、パイロンスラロームなどで基本的な車両挙動が学べるので、いきなりサーキットを走るのはコワイという人にオススメだ。実際、ベーシッククラスで学んで、ステップアップしてアドバンスクラスでサーキット走行を楽しんでいる人たちがたくさんいるという。さらにタイムアタックの「スパタイGP」も好評の企画だ。

スパタイGP入賞のみなさん



ST3000

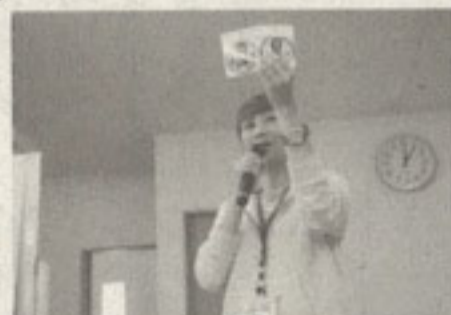


ST5000



アルファロメオCUP

“山路慎一ドライビングスピリット” を開催



▲菜穂さんの呼びかけによりチャリティ（難病の子供の夢を叶える団体 make a wish に寄付）を実施



今回のドラレスでは、故・山路慎一氏の一周忌を節目として、奥様である山路菜穂さんを招いてのメモリアルイベント「山路慎一ドライビングスピリット」を開催した。山路氏は生前、このドラレスの特別講師を務めたことがあり、「交通社会全体をリスペクトすることにより、交通事故が自ずと減るはず」と参加者に熱く語っていた。その山路スピリットを伝承すべく、メモリアルコーナーが設置されたほか、講師陣と菜穂さんによる山路氏を偲ぶトークショー、パレードランなどが開催された。

仕方とクルマの挙動について、「基本的」なところから教えてくれるからだ。基本的と言っても自動車教習所で習うようなことではなく、タイヤの摩擦円（グリップの限界）やクルマの荷重移動と挙動変化などのドライビング理論の初歩的な内容について、図版を交えて解説してくれるのだ。これが知らない人にとってはまさに開眼する思いで、その理論を聞いた後に、すぐに走って試し

てみることでできるので、ほとんどの人が「なるほど！」と納得して帰っていく。こういうところが本誌を読んだ人や口コミで広がっているようで、それが初心者に人気のワケのようだ。さらに言うと、一度来た人には、もっとサーキットを走ってみたいというリピーターも多いたこと。まだドラレスに来たことのない人も、ぜひ参加してみたい。見えてくる世界が違ってくることは間違いない！